

令和6年11月27日

国土交通省関東地方整備局

横浜国道事務所

『第2回 国道246号伊勢原市善波地区法面崩落対策検討委員会』 の開催結果について

国道246号の新善波トンネル（伊勢原市善波地先）の厚木側坑口付近では、8月30日（金）に土砂崩落が発生し、9月9日（月）に応急復旧が完了したところです。

このたび、現地調査結果を踏まえ、本復旧方針について、令和6年11月25日（月）に「第2回 国道246号伊勢原市善波地区法面崩落対策検討委員会」を開催しましたので、概要をお知らせします。

■会議の概要について

1. 日時：令和6年11月25日（月） 10時00分～11時00分
2. 委員：別紙のとおり
3. 議事概要：以下のことを確認した。

○発災までの法面点検状況と法面崩落メカニズムについて

- ・これまでの間、当該法面の調査確認、日常パトロール、発災前の豪雨パトロール時のいずれも、斜面の安定性を損なうような変状は確認されていなかった。
- ・被災後の調査結果によると、法面崩落の原因は、台風10号に伴う前線の影響で、記録的な豪雨により、背後斜面から雨水が土砂中に供給され、地下水位・水圧の上昇が生じ、地盤の抵抗力低下により発生に至ったものと考えられる。

○本復旧方針について

- ・法面全体の安定性を高めるために、排水を速やかに行うための水抜きボーリング、グラウンドアンカー等の対策を行う。

○監視システムについて

- ・11月までの降雨では地盤変動は認められなかったが、今後も降雨の際の水位上昇と地盤変動の継続的な監視を行う。

今後、委員の皆様から頂いた助言を踏まえつつ、速やかな本復旧工事を実施してまいります。工事期間中、地域の皆様や道路利用者の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 神奈川県政記者クラブ 横浜ラジオ・テレビ記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 横浜国道事務所

TEL：045-287-3001（代表） FAX：045-287-3023

副所長 渡邊（わたなべ）（内線205）

管理第二課長 小野（おの）（内線441）

国道246号伊勢原市善波地区法面崩落対策検討委員会

名簿

所属・役職名	氏名	
横浜国立大学 大学院 都市イノベーション研究院 都市イノベーション部門 教授（工学博士）	早野 公敏	委員長
国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路基盤研究室長	桑原 正明	
国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 構造・基礎研究室長	藤田 智弘	
国立研究開発法人 土木研究所 地質・地盤研究グループ 特命事項担当 上席研究員	浅井 健一	
国立研究開発法人 土木研究所 道路技術研究グループ トンネルチーム 上席研究員	日下 敦	

(順不同)